B6FJ-9491-01

STYLISTIC

取扱説明書

このたびは弊社の製品をご購入いただき、誠にありがとうございます。
本書をご覧になり、本製品を使用する準備をしてください。使用上のご注意は、必ずお読みください。

■目次■

マニュアルについて 1
お使いになる前に 2
安全上のご注意 6
使用上のご注意 11
各部の名称と働き 14
接続する 18
初期設定を行う 19
電源を入れる／切る 20
ご購入時の状態に戻す 21
お問い合わせ先 22

マニュアルについて

- はじめに添付品を確認してください（別紙）
  添付品の一覧です。購入後、すぐに添付品を確認してください。
- 取扱説明書（本書）
- 製品ガイド（PDF）
  インターネット（http://www.fmworld.net/biz/android/manual/）で公開しています。

マニュアルは、改善のため変更することがあります。
最新のマニュアルは、インターネットで公開しています。

お使いになる前に

安全にお使いいただくために

このマニュアルには、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、このマニュアルを熟読してください。特に、「安全上のご注意」（→ P.6）をよくお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。また、このマニュアルは、本製品の使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

保証書について

・保証書は、必ず必要事項を記入し、内容をよくお読みください。その後、大切に保管してください。
・修理を依頼される場合には、必ず保証書をご用意ください。
・保証期間内に、正常な使用状態で故障した場合は、無料で修理いたします。
・保証期間内でも、保証書の提示がない場合や、天災あるいは無理な使用による故障の場合などには、有料での修理となります。ご注意ください（詳しくは、保証書をご覧ください）。
・修理後は、本製品の内容が修理前とは異なり、ご購入時の状態や、何も入っていない状態になっている場合があります。大切なデータは、バックアップをとり、保管しておいてください。
・本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の保有期間は、製造終了後5年です。

本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。
ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。
原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

液晶ディスプレイの特性について

以下は、液晶ディスプレイの特性です。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
・液晶ディスプレイは非常に精度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しないドットや、常時点灯するドットが存在する場合があります（有効ドット数の割合は99.99% 以上です。有効ドット数の割合とは「対応するディスプレイの表示しうる全ドット数のうち、表示可能なドット数の割合」を示しています）。
・本製品で使用している液晶ディスプレイは、製造工程により、各製品で色合いが異なる場合があります。また、温度変化などで多少の色むらが発生する場合があります。
・表示する条件によってはムラおよび微少な斑点が目立つことがあります。

データのバックアップについて

本製品に記録されたデータ（基本ソフト、アプリケーションソフトも含む）の保全については、お客様ご自身でバックアップなどの必要な対策を行ってください。また、修理を依頼される場合も、データの保全については保証されませんので、事前にお客様ご自身でバックアップなどの必要な対策を行ってください。
データが失われた場合でも、保証書の記載事項以外は、弊社ではいかなる理由においても、それに伴う損害やデータの保全・修復などの責任を一切負いかねますのでご了承ください。

本製品は電気・電子機器の特定の化学物質＜鉛、六価クロム、水銀、カドミウム、ポリブロモビフェニル、ポリブロモジフェニルエーテルの6物質＞の含有表示を規定するJIS規格「J-Moss」において、化学物質の含有率が基準値以下であることを示す「グリーンマーク（非含有マーク）」に対応しています。本製品における特定の化学物質（6物質）の詳細含有情報は、下記URLをご覧ください。
http://www.fmworld.net/biz/fmv/jmoss/

本製品の構成部品（プリント基板、液晶ディスプレイなど）には、微量の重金属（鉛、クロム、水銀）や化学物質（アンチモン、シアン）が含有されています。

使用許諾契約書

富士通株式会社（以下弊社といいます）では、本製品にインストール、もしくは添付されているソフトウェア（以下本ソフトウェアといいます）をご使用いただく権利をお客様に対して許諾するにあたり、下記「ソフトウェアの使用条件」にご同意いただくことを使用の条件とさせていただいております。なお、お客様が本ソフトウェアのご使用を開始された時点で、本契約にご同意いただいたものといたしますので、本ソフトウェアをご使用いただく前に必ず下記「ソフトウェアの使用条件」をお読みいただきますようお願い申し上げます。ただし、本ソフトウェアのうちの一部ソフトウェアに別途の「使用条件」もしくは「使用許諾契約書」等が添付されている場合は、本契約に優先して適用されますので、ご注意ください。

ソフトウェアの使用条件

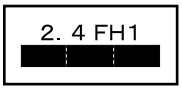
1. 本ソフトウェアの使用および著作権
   お客様は、本ソフトウェアを、日本国内において本製品でのみ使用できます。なお、お客様は本製品のご購入により、本ソフトウェアの使用権のみを得るものであり、本ソフトウェアの著作権は引き続き弊社または開発元である第三者に帰属するものとします。
2. バックアップ
   お客様は、本ソフトウェアにつきまして、1 部の予備用（バックアップ）媒体を作成することができます。
3. 本ソフトウェアの別ソフトウェアへの組み込み
   本ソフトウェアが、別のソフトウェアに組み込んで使用されることを予定した製品である場合には、お客様はマニュアル等記載の要領に従って、本ソフトウェアの全部または一部を別のソフトウェアに組み込んで使用することができます。
4. 複製
   （1） 本ソフトウェアの複製は、上記「2.」および「3.」の場合に限定されるものとします。
   本ソフトウェアが組み込まれた別のソフトウェアについては、マニュアル等で弊社が複製を許諾していない限り、予備用（バックアップ）媒体以外には複製は行わないでください。
   ただし、本ソフトウェアに複製防止処理がほどこしてある場合には、複製できません。
   （2） 前号によりお客様が本ソフトウェアを複製する場合、本ソフトウェアに付されている著作権表示を、変更、削除、隠蔽等しないでください。
5. 第三者への譲渡
   お客様が本ソフトウェア（本製品に添付されている媒体、マニュアルならびに予備用バックアップ媒体を含みます）を第三者へ譲渡する場合には、本ソフトウェアがインストールされたパソコンとともに本ソフトウェアのすべてを譲渡することとします。なお、お客様は、本製品に添付されている媒体を本製品とは別に第三者へ譲渡することはできません。
6. 改造等
   お客様は、本ソフトウェアを改造したり、あるいは、逆コンパイル、逆アセンブルをともなうリバースエンジニアリングを行うことはできません。
7. 壁紙の使用条件
   本製品に「FUJITSU」ロゴ入りの壁紙がインストールされている場合、お客様は、その壁紙を改変したり、第三者へ配布することはできません。
8. 保証の範囲
   （1） 弊社は、本ソフトウェアとマニュアル等との不一致がある場合、本製品をご購入いただいた日から90日以内に限り、お申し出をいただければ当該不一致の修正に関して弊社が必要と判断した情報を提供いたします。
   また、本ソフトウェアの記録媒体等に物理的な欠陥（破損等）等がある場合、本製品をご購入いただいた日から1ヶ月以内に限り、不良品と良品との交換に応じるものとします。
   （2） 弊社は、前号に基づき負担する責任以外の、本ソフトウェアの使用または使用不能から生じるいかなる損害（逸失利益、事業の中断、事業情報の喪失その他の金銭的損害を含みますが、これに限られないものとします）に関しても、一切責任を負いません。たとえ、弊社がそのような損害の可能性について知らされていた場合も同様とします。
   （3） 本ソフトウェアに第三者が開発したソフトウェアが含まれている場合においても、第三者が開発したソフトウェアに関する保証は、弊社が行う上記（1）の範囲に限られ、開発元である第三者は本ソフトウェアに関する一切の保証を行いません。
9. ハイセイフティ
   本ソフトウェアは、一般事務用、パーソナル用、家庭用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本ソフトウェアを使用しないものとします。ハイセイフティ用途とは、下記の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

記

原子力核制御、航空機飛行制御、航空交通管制、大量輸送運行制御、生命維持、兵器発射制御など

富士通株式会社

Bluetooth®ワイヤレステクノロジー搭載の場合



・上記表示の2.4GHz帯を使用している無線設備は、全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可です。変調方式としてFH-SS変調方式を採用しており、与干渉距離は10mです。
・本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。
（1） 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
（2） 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、下記の連絡先にご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。
（3） その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせください。
連絡先：「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」
・本製品は、日本国内での無線規格に準拠し、認定を取得しています。日本国内でのみお使いいただけます。また、海外でご使用になると罰せられることがあります。
・パソコン本体と通信相手の機器との推奨する最大通信距離は、見通し半径10m以内（出力Class2の最大値）です。ただし、Bluetooth®ワイヤレステクノロジーの特性上、ご利用になる建物の構造・材質、障害物、ソフトウェア、設置状況、電波状況等の使用環境により通信距離は異なります。また、通信速度の低下や通信不能となる場合もありますのであらかじめご了承ください。
・航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

無線LAN（IEEE802.11a準拠、IEEE802.11b準拠、IEEE802.11g準拠、IEEE802.11n準拠）搭載の場合

・上記表示の2.4GHz帯を使用している無線設備は、全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。変調方式としてDSSS変調方式およびOFDM変調方式を採用しており、与干渉距離は40mです。
・本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。
（1） 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
（2） 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、下記の連絡先にご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。
（3） その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせください。
連絡先：「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」
・本製品は、日本国内での無線規格に準拠し、認定を取得しています。日本国内でのみお使いいただけます。また、海外でご使用になると罰せられることがあります。
・本製品と通信相手の機器との推奨する最大通信距離は、IEEE802.11a準拠では見通し半径15m以内、IEEE802.11b準拠、IEEE802.11g準拠では見通し半径25m以内、IEEE802.11n準拠では見通し半径50m以内となります。ただし、無線LANの特性上、ご利用になる建物の構造・材質、障害物、ソフトウェア、設置状況、電波状況等の使用環境により通信距離は異なります。また、通信速度の低下や通信不能となる場合もありますのであらかじめご了承ください。
・IEEE802.11g準拠とIEEE802.11b準拠の無線LANの混在環境においては、IEEE802.11g準拠はIEEE802.11b準拠との互換性をとるため、IEEE802.11g準拠本来の性能が出ない場合があります。IEEE802.11g準拠本来の性能が必要な場合は、IEEE802.11g準拠とIEEE802.11b準拠を別のネットワークにし、使用しているチャンネルの間隔を5チャンネル以上あけてお使いください。
・本製品に内蔵の無線LANを5.2/5.3GHz帯でご使用になる場合、電波法の定めにより屋外ではご利用になれません。
・航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

有寿命部品について

・本製品には、有寿命部品が含まれています。有寿命部品は、使用時間の経過に伴って摩耗、劣化などが進行し、動作が不安定になる場合がありますので、本製品をより長く安定してお使いいただくためには、一定の期間で交換が必要となります。
・有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や使用環境等により異なりますが、空調のある通常のオフィス環境において1日約8時間、1ヶ月で25日のご使用で約5年です。なお、この期間はあくまでも目安であり、この期間内に故障しないことや無料修理をお約束するものではありません。また、長時間連続使用など、ご使用状態によっては、この目安の期間よりも早期に部品交換が必要となる場合があります。
・本製品に使用しているアルミ電解コンデンサは、寿命が尽きた状態で使用し続けると、電解液の漏れや枯渇が生じ、異臭の発生や発煙の原因となる場合がありますので、早期の交換をお勧めします。
・摩耗や劣化などにより有寿命部品を交換する場合は、保証期間内であっても有料となります。なお、有寿命部品の交換は、当社の定める補修用性能部品単位での修理による交換となります。
・本製品をより長く安定してお使いいただくために、省電力機能の使用をお勧めします。

＜主な有寿命部品一覧＞

液晶ディスプレイ、メモリーカードスロット、ACアダプタ

消耗品について

・バッテリパックや乾電池などの消耗品は、その性能／機能を維持するために適時交換が必要となります。なお、本製品の内蔵バッテリパックは取り外しができません。また交換は修理対応（有償）になります。

24時間以上の連続使用について

・本製品は、24時間以上の連続使用を前提とした設計にはなっておりません。

本製品は、国内での使用を前提に作られています。海外での使用につきましては、お客様の責任で行っていただくようお願いいたします。

本製品には、“外国為替及び外国貿易法”に基づく特定貨物が含まれています。したがって、本製品を輸出する場合には、同法に基づく許可が必要となる場合があります。

電源プラグとコンセント形状の表記について

本製品に添付されているACアダプタの電源プラグは「平行2極プラグ」です。マニュアルでは「電源プラグ」と表記しています。
接続先のコンセントには「平行2極プラグ（125V15A）用コンセント」をご利用ください。
マニュアルでは「コンセント」と表記しています。

GoogleおよびGoogleロゴは、Google Inc.の商標または登録商標です。
Bluetooth®は、Bluetooth SIGの商標であり、弊社へライセンスされています。
microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。

その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。
その他の各製品は、各社の著作物です。

Copyright FUJITSU LIMITED 2012

警告表示について

このマニュアルでは、いろいろな絵表示を使っています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、お読みください。

⚠ 危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負うことがあり、その切迫の度合いが高いことを示しています。
⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、物的損害が発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容がどのようなものかを示すために、上記の絵表示と同時に次の記号を使っています。

	△で示した記号は、警告・注意をうながす内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。
	⃠で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。
	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。

安全上のご注意

本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、必ずお読みになり、正しく安全に、大切に取り扱ってください。
また、本製品をお使いになるときは、マニュアルをよくお読みになり、正しくお使いください。

本体、ACアダプタ

⚠ 警告

本製品を火中に投入、加熱、あるいは端子をショートさせないでください。
発煙・発火・破裂の原因になります。

本製品から発熱や煙、異臭や異音がするなどの異常が発生したときは、ただちに電源プラグをコンセントから抜いてください。
異常状態のまま使用すると、感電・火災の原因となります。

本製品はコンセントの近くに設置し、電源プラグに容易に手が届くようにしてください。
万一の場合に、電源プラグが抜けなくなり、危険につながる恐れがあります。

本製品の内部に水などの液体や金属片などの異物が入った場合は、すぐに本製品の電源を切り、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜いてください。
そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

本製品を落としたり、カバーなどを破損したりした場合は、本製品の電源を切り、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜いてください。
そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

雷が鳴り出したときは、落雷の可能性がなくなるまで本製品やケーブル類に触れないでください。ケーブル類の接続作業は、落雷の可能性がなくなるまで行わないでください。落雷の可能性がある場合は、あらかじめ本製品の電源を切り、その後電源プラグをコンセントから抜き、ケーブル類を取り外しておいてください。

落雷による感電、火災の原因となります。また、本製品が故障するおそれがあります。

各スロットなどの開口部から、本製品の内部に金属物や紙などの燃えやすいものを差し込んだり、入れたりしないでください。

感電・火災の原因となります。

本製品をお客様ご自身で改造しないでください。また、マニュアルなどで指示がある場合を除いて分解しないでください。

感電・火災の原因となります。

梱包に使用している袋類は、お子様の手の届く所に置かないでください。

口に入れたり、頭にかぶったりすると、窒息の原因となります。

自動車などを運転中に本製品を使用しないでください。

安全走行を損ない、事故の原因となります。車を安全な所に止めてからお使いください。

本製品やACアダプタの温度が高くなる部分に長時間直接触れて使用しないでください。

低温やけどの原因になります。

本製品をご使用になる場合には、部屋を明るくして、画面からできるだけ離れてください。

お使いになる方の体質や体調によっては、強い光の刺激を受けたり、点滅の繰り返しによって一時的な筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こしたりする場合がありますので、ご注意ください。過去にこのような症状を起こしたことがある場合は、事前に医師に相談してください。また、本製品をご使用中にこのような症状を発症した場合には、すぐに本製品の使用を中止し、医師の診断を受けてください。

本製品の内部に搭載されているリチウム電池には触らないでください。

取り扱いを誤ると、人体に影響を及ぼすおそれがあります。
リチウム電池はご自身で交換しないでください。

本製品を風通しの悪い場所、火気のある場所、引火性ガスの発生する場所で使用したり、置いたりしないでください。

火災の原因となります。

本製品を風呂場やシャワー室など、水のかかるおそれのある場所で使用したり、置いたりしないでください。

感電・火災の原因となります。

本製品の上や周りに、花びん・コップなど液体の入ったものを置かないでください。

水などの液体が本製品の内部に入って、感電・火災の原因となります

使用中の本製品やACアダプタは、ふとんなどをかけたり、暖房器具の近くやホットカーペットの上に置いたりしないでください。

内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

矩形波が出力される機器（UPS（無停電電源装置）や車載用AC電源など）に接続しないでください。

火災の原因となることがあります。

本製品や周辺機器のケーブル類の配線にご注意ください。

ケーブルに足を引っかけ転倒したり、本製品や周辺機器が落ちたり、倒れたりして、けがや故障の原因となります。また、お子様が容易にケーブルに触れないようにしてください。誤って首に巻きつけると窒息の原因となります。

添付もしくは指定された以外のACアダプタやケーブルを本製品に使ったり、本製品に添付のACアダプタやケーブルを他の製品に使ったりしないでください。

感電・火災の原因となります。

ACアダプタを落下させたり、強い衝撃を与えたりしないでください。

内部の基板が壊れることがあります。また、ACアダプタやケーブルが変形したり、割れたり、傷ついている場合は使用しないでください。故障・感電・火災の原因となります。

清掃の際、清掃用スプレー（可燃性物質を含むもの）を使用しないでください。

故障・火災の原因となります。

⚠注意

本製品の上に重いものを置かないでください。

故障・けがの原因となることがあります。

本製品を調理台や加湿器のそば、ほこりの多い場所などで使用したり、置いたりしないでください。

感電・火災の原因となることがあります。

本製品を直射日光が当たる場所、閉めきった自動車内など、温度が高くなる所で使用したり、置いたりしないでください。

感電・火災の原因となることがあります。また、破損や故障の原因となることがあります。

振動している場所や傾いた所などの不安定な場所に置かないでください。

本製品が落ちて、けがの原因となります。

本製品をお使いになる場合は、次のことに注意し、長時間使い続けるときは1時間に10～15分の休憩時間や休憩時間の間の小休止をとるようにしてください。

本製品を長時間使い続けると、目の疲れや首・肩・腰の痛みなどを感じる原因となることがあります。画面を長時間見続けると、「近視」「ドライアイ」などの目の健康障害の原因となることがあります。

・画面の位置や角度、明るさなどを見やすいように調節する。
・なるべく画面を下向きに見るように調整し、意識的にまばたきをする。場合によっては目薬をさす。
・背もたれのあるいすに深く腰かけ、背筋を伸ばす。
・いすの高さを、足の裏全体が付く高さに調節する。
・手首や腕、ひじは机やいすのひじかけなどで支えるようにする。

本製品の廃棄については、マニュアルの説明に従ってください。

本製品は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。本製品はリチウム電池を使用しており、一般のゴミといっしょに火中に投じられると破裂のおそれがあります。

メモリーカードスロットなど、本製品の開口部に、手や指を入れないでください。カードなどをセットまたは取り出す場合も手や指を入れないでください。

けが・感電の原因となることがあります。特に、お子様が近くにいる場合はご注意ください。

電源を入れた状態でかばんなどに入れて持ち運んだり、衝撃や振動を与えたりしないでください。

故障の原因となります。

本製品を移動する場合は、必ずACアダプタの電源プラグをコンセントから抜いてください。また、接続されたケーブルなども外してください。作業は足元に充分注意して行ってください。

ACアダプタのケーブルが傷つき、感電・火災の原因となることがあります。また、本製品が落下したり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

本製品を長期間使用しないときは、安全のためACアダプタの電源プラグをコンセントから抜き、本製品からACアダプタを取り外してください。

火災の原因となることがあります。

液晶ディスプレイが破損し、液状の内容物が流出して皮膚に付着した場合は、流水で15分以上洗浄してください。また、目に入った場合は、流水で15分以上洗浄した後、医師に相談してください。

中毒を起こすおそれがあります。液晶ディスプレイの内部には、刺激性物質が含まれています。

バッテリ駆動時間が短くなった場合には、内蔵バッテリパックの交換が必要です。本製品の内蔵バッテリは取り外しができません。交換は修理対応（有償）になります。

電源ケーブル

⚠ 警告

ACアダプタやケーブル、電源プラグが傷ついている場合は使用しないでください。

火災・感電の原因となります。

ACアダプタの電源プラグは、壁のコンセント（AC100V）に直接かつ確実に差し込んでください。また、タコ足配線をしないでください。

感電・火災の原因となります。

濡れた手でACアダプタの電源プラグを抜き差ししないでください。

感電の原因となります。

ACアダプタの電源プラグに、ドライバーなどの金属を近づけないでください。

火災・感電の原因となります。

ACアダプタのケーブルは、傷つけたり、加工したり、加熱したり、重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。

感電・火災の原因となります。

ACアダプタにケーブルをきつく巻きつけるなどして、根元部分に負担をかけないでください。

ケーブルの芯線が露出したり断線したりして、感電・火災の原因となります。

ACアダプタや電源プラグはコンセントからときどき抜いて、コンセントとの接続部分およびACアダプタとケーブルの接続部分などのほこりやゴミを乾いた布でよく拭き取ってください。

ほこりがたまったままの状態で使用すると感電・火災の原因になります。1年に一度は点検清掃してください。

無線について

⚠ 警告

無線LAN、Bluetooth®ワイヤレステクノロジーの注意
次の場所では、本製品の電源を切るなどして、無線通信機能を停止してください。

無線機器からの電波により、誤動作による事故の原因となります。

・病院内や医療用電子機器のある場所
　特に手術室、集中治療室、CCU（冠状動脈疾患監視病室）などには持ち込まないでください。
・航空機内など無線通信機能の使用を禁止されている場所
・自動ドア・火災報知機など自動制御機器の近く
・満員電車の中など付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性がある場所

心臓ペースメーカーの装着部位からは22cm以上離してください。

電波によりペースメーカーの動作に影響を及ぼす原因となります。

ヘッドホン

⚠ 注意

ヘッドホン・イヤホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないでください。

耳を刺激するような大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与える原因となることがあります。

電源を入れたり切ったりする前には音量を最小にしておいてください。また、ヘッドホン・イヤホンをしたまま、電源を入れたり切ったりしないでください。

突然大きな音や刺激音が出て、聴力に悪い影響を与える原因となることがあります。

周辺機器

⚠ 警告

本製品の設置や、周辺機器の取り付け／取り外し、お手入れなどを行うときは、本製品や周辺機器の電源を切った状態で行ってください。

ACアダプタや電源プラグがコンセントにつながっている場合は、それらをコンセントから抜いてください。感電や故障の原因となります。

周辺機器のケーブルは、本製品や周辺機器のマニュアルをよく読み、正しく接続してください。

誤った接続状態でお使いになると、感電・火災の原因となります。また、本製品および周辺機器が故障する原因となります。

⚠ 注意

メモリーカードなどの使用終了直後は、カードなどが高温になっていることがあります。カードを取り出すときは、使用後しばらく待ってから取り出してください。

やけどの原因となることがあります。

使用上のご注意

本製品をお使いになるうえでは、「安全上のご注意」（→P.6）もあわせてご覧ください。

本体取り扱い上の注意

- 長時間お使いになる場合は、バッテリ切れによるデータ消失などを防ぐため、必ずACアダプタを取り付けてください。
- 電源を切った後、すぐに電源を入れないでください。再度電源を入れる場合は、10秒以上待ってから電源を入れてください。
- 本体内部から動作音が聞こえることがあります。これらは故障ではありません。
- 使用するソフトウェアによっては、本体裏面が多少熱く感じられることがあります。長時間使用する場合には低温やけどを起こす可能性がありますので、ご注意ください。
- 本体には静電気に弱い部品が使用されていますので、静電気の発生しやすい場所では使用しないでください。また、使用する前には金属質のものに触れて、静電気を逃がしてください。
- タッチパネルは、たたいたり強く押したりしないでください。
- 表示面・裏面にかかわらず、強い圧力を加えないでください。画面にムラが生じる場合があります。
- 本体を裏返して置かないでください。
- 本体を立てたり傾けたりして置かないでください。本体が倒れて、故障の原因となることがあります。
- 手に持って使用するときは、ACアダプタやヘッドホンなどのケーブルにご注意ください。引っかけたり落としたりして、故障・破損・けがの原因となります。
- 本体内部に異物（クリップや金属片、シャープペンシルの芯など）を入れないでください。
- かばんの中などに入れて携帯する場合は、本体を立てた状態で入れてください。また出し入れのときは落とさないようご注意ください。
- 本体やACアダプタを運ぶ場合は、ぶつけたり落としたりしないでください。かばんなどに入れて衝撃や振動から保護してください。
- 本体を自動車内に設置した状態での使用は、保証しておりません。

放熱について

- 本体およびACアダプタは、使用中に熱をもつことがあります。そのため、長時間同じ場所に設置すると、設置する場所の状況や材質によっては、その場所の材質が変質したり劣化したりすることがあります。ご注意ください。
- 台所などの油を使用する場所の近くでは、使わないでください。油分が本体内部に入って放熱部品などに付着し、放熱性能を低下させる可能性があります。

落雷のおそれがあるときの注意

落雷の可能性がある場合は、本体の電源を切るだけでなく、すべてのケーブル類を抜いておくことをお勧めします。また、雷が鳴り出したら、本体やケーブル類、およびそれらにつながる機器に触れないでください。安全のため、避雷器の設置をお勧めします。
落雷には、直撃雷と誘導雷の2種類ありますが、本体の故障は主に誘導雷によって起こります。雷により周囲に強力な電磁場ができると発生し、電線や電話線などから侵入するのが誘導雷です。電源プラグや、外部機器との接続ケーブルなどからの誘導雷の侵入が考えられます。誘導雷を防ぐにはケーブル類を抜くなどの対策が必要です。
直撃雷は避雷針によって雷を誘導して対象物を保護できますが、避雷器の許容値を超えた非常に大きな雷を受けた場合には、避雷器を用いても保護できないことがあります。
場合によっては、本体だけでなく、周辺機器などが故障することもあります。落雷による故障は、保証期間内でも有償修理となります。故障の状況によっては、修理費用が高額になることもあるので、ご注意ください。

使用、設置に適さない場所

- 極端に高温または低温になる場所
- 直射日光の当たる場所
- 衝撃や振動の加わる場所や不安定な場所
- 湿気やほこり、油煙の多い場所

  本体のそばで喫煙をすると、タバコのヤニや煙が本体内部に入り、放熱効率を低下させる可能性があります。
- 水など液体のかかる場所
- 腐食性ガス（温泉から出る硫黄ガスなど）が出る場所
- 無線通信機能を搭載している機種の場合、周囲が金属などの導体（電気を通しやすいもの）でできている場所
- 磁気を発生するものの近く
- 次の温湿度条件の範囲を超える場所
  - 動作時：温度5～35℃／湿度20～80％RH
  - 非動作時：温度-10～60℃／湿度80％RH
- 結露する場所

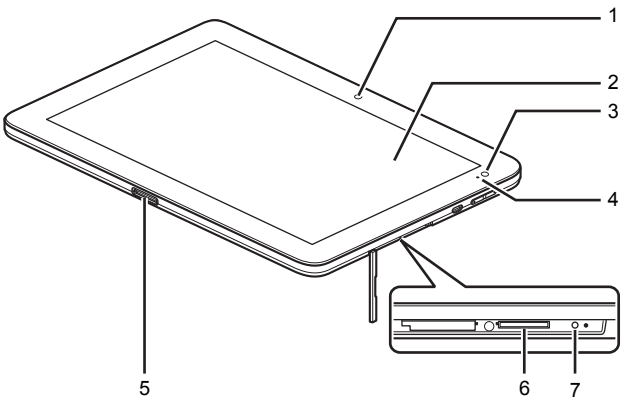
  結露は空気中の水分が水滴になる現象です。温度の低い場所（クーラーの効いた場所、寒い屋外など）から、温度の高い場所（暖かい室内、炎天下の屋外など）へ移動したときに起こります。結露が発生すると故障の原因となり、場合によってはショートして発煙・発火の原因になる可能性があります。

本製品について

- バッテリ残量が0%になると、日時の設定がリセットされます。バッテリ残量が0%になる前に、ACアダプタを接続して充電することをお勧めします。
  バッテリ残量が0%になった場合は、ACアダプタを接続し、5分以上充電してから起動してください。
  日時は次の手順で設定します。
  ホーム画面で [⋮⋮⋮] →［設定］→［日付と時刻］
- microSDカードやUSBメモリが認識されない場合は、次の手順でマウントの操作を行ってください。
  ホーム画面で [⋮⋮⋮] →［設定］→［ストレージ］→［SDカードをマウント］
- microSDカードやUSBメモリを取り外すときは、次の手順でマウントの解除を行ってください。
  ホーム画面で [⋮⋮⋮] →［設定］→［ストレージ］→［SDカードのマウント解除］
- 本製品をUSBケーブルでパソコンに接続している場合、本製品を取り外すときは、マウント解除機能がありません。パソコンとアクセスしているときは、USBケーブルを抜かないでください。
- 本製品では、一部の画面で次のような表示が出ることがありますが、故障ではありません。
  - USBメモリをマウントまたはマウント解除するなど、USBメモリを操作しているときに「SDカード」と表示される
  - 音楽アプリで内部ストレージまたはmicroSDカード内の音楽を削除するなど、内部ストレージまたはmicroSDカードを操作しているときにUSBメモリ（USBストレージ）を示すメッセージが表示される
- GPS機能を使って測位する場合、時間がかかることがあります。

各部の名称と働き

本体前面／側面／下面



1 **インカメラ**
自分を撮影するときなどに使います。

2 **ディスプレイ（タッチパネル）**
画面に直接触れて操作します。

3 **照度センサー**
周囲の明るさを検知します。

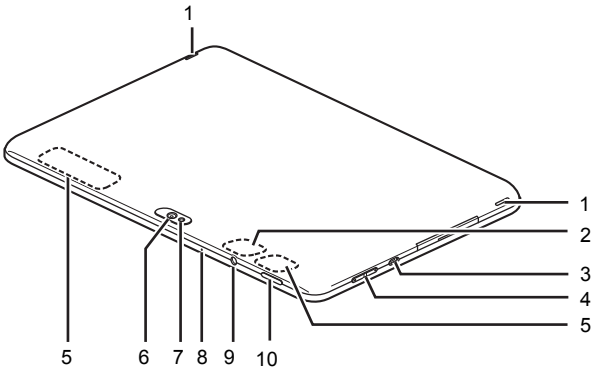
4 **充電ランプ**
ACアダプタが接続されているときに、充電状態を表示します。
オレンジ色点灯：充電中
白色点灯：充電完了（満充電）

5 **DC-INコネクタ**
ACアダプタ、クレードル、またはコネクタボックスを接続します。

6 **microSDカードスロット**
microSDカードの読み書きを行います。
キャップを開いて使用します。

7 **リセットボタン**
電源／終了ボタンで電源が切れないときに、クリップの先などで6秒以上押します。ボタンを離すと本製品が再起動します。
右隣の小さい穴と間違えないようご注意ください。

本体背面／側面



1 **スピーカー**

音楽や音声を出力します。

2 **GPSアンテナ部**

アンテナが内蔵されています。手で覆うと通信状態に影響を及ぼす場合があります。

3 **microUSB-Bコネクタ**

添付のUSBケーブルを接続します。
パソコンに接続することで、本製品を外部ストレージとして使用することができます。
このコネクタで充電はできません。

4 **音量ボタン（＋／－）**

動画や音楽の再生音量などを調節します。

5 **Bluetooth／Wi-Fiアンテナ部**

アンテナが内蔵されています。手で覆うと通信状態に影響を及ぼす場合があります。

6 **アウトカメラ**

静止画や動画を撮影します。

7 **カメラ用フラッシュ**

8 **マイク**

録音するときに使用します。

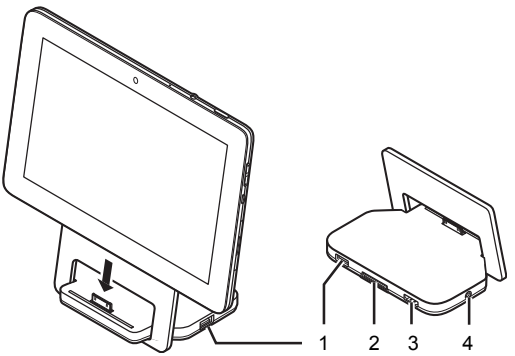
9 **ステレオイヤホン端子**

外径3.5mmのミニプラグに対応した市販のヘッドホンを接続します。

10 **電源／終了ボタン**

- 電源を入れたり、画面をオン／オフしたりします。
- 1～4秒押し続けると、「電源を切る」が表示され、電源を切ることができます。
- 5秒以上押し続けると、強制的に電源が切れます。

クレードル（別売オプション）



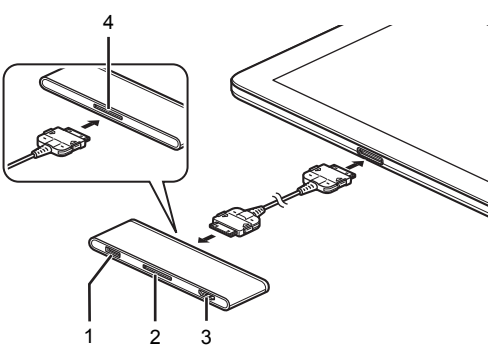
1 **USB2.0コネクタ**
USBメモリ／マウス／キーボードを接続します。このコネクタを使用する場合は、ACアダプタを接続してください。
機器によっては、本製品で動作しないことがあります。

2 **DC-INコネクタ**

3 **HDMIコネクタ**

4 **ラインアウト端子**

コネクタボックス（別売オプション）



1 **USB2.0コネクタ**
USBメモリ／マウス／キーボードを接続します。このコネクタを使用する場合は、ACアダプタを接続してください。
機器によっては、本製品で動作しないことがあります。

2 **DC-INコネクタ**

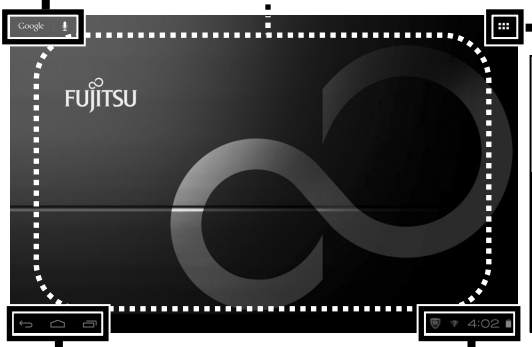
3 **HDMIコネクタ**

4 **本体接続用コネクタ**

ホーム画面

Google 検索

ホーム画面は全部で５画面あり、指で画面をスライドする操作で切り替えます。
アプリのショートカットやウィジェットを置くことができます。

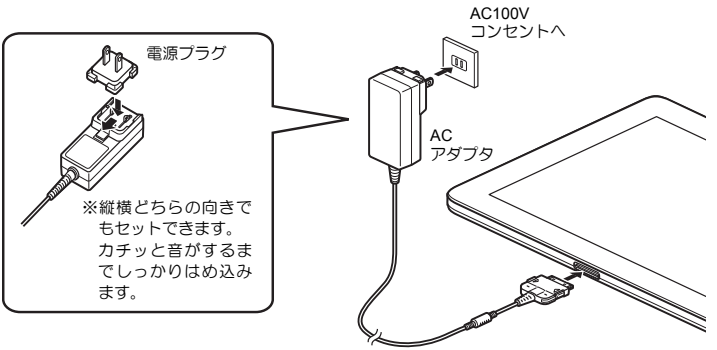


アプリ／ウィジェットメニュー
をタップ（指で画面をタッチする操作）すると、アプリー覧とウィジェット一覧が表示されます。

戻る：直前の動作に戻ります。
ホーム：ホーム画面を表示します。
履歴：最近使ったアプリの履歴が表示されます。

ステータスエリア
状態や設定を確認できるアイコンが表示されます。タップするとパネルが開き、設定を変更できます。

接続する



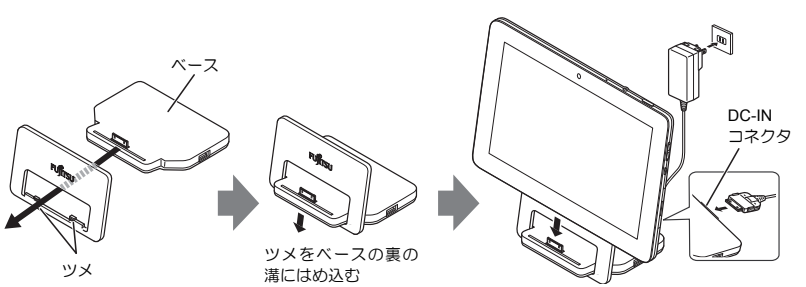
1 **ACアダプタに、電源プラグをセット**

2 **ACケーブルを、本体のDC-INコネクタに接続**

3 **ACアダプタ（電源プラグ）を、コンセントに接続**

<Point>

- クレードルを使う場合は、次のように接続してください。



初期設定を行う

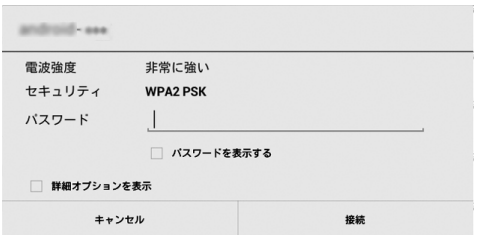
初期設定は、無線LANに接続できる環境で行ってください。

1 電源／終了ボタンを２秒程度押し続ける

2 「ようこそ」と画面に表示されたら、画面右の［開始］をタップ

3 「設定」画面で接続するWi-Fiネットワークを選んで接続 →［次へ］

接続するWi-Fiネットワークを選ぶと、次のような画面が表示されますので、パスワードを入力して［接続］をタップして接続します。



4 「日時の設定」画面で、［GMT+00:00］をタップし［日本標準時（東京）］を選択 →［次へ］

5 「Googleを利用する」画面でGoogleアカウントを登録

・Googleアカウントを持っていない場合：
［アカウントを作成］をタップして、画面の指示に従って登録を行ってください。

・Googleアカウントを持っている場合：
［ログイン］をタップし、Googleアカウントのユーザー名とパスワードを入力してログインします。その後は、画面の指示に従って登録を行ってください。

<Point>

ソフトウェアキーボードで登録画面が隠れている場合は、画面をスクロールして表示させてください。

6 「Google位置情報の利用」画面の内容を確認 →［次へ］

7 「このタブレットの所有者」画面で名前を入力 →［次へ］

この画面が表示されない場合は、次の手順に進んでください。

8 「Googleサービス」画面の内容を確認 →［次へ］

この画面が表示されない場合は、次の手順に進んでください。

9 「セットアップ完了」画面で［完了］

これで初期設定は完了です。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 電源／終了ボタンを2秒程度押し続ける

画面が表示されるまでに時間がかかる場合があります。
10秒程度待っても画面が表示されない場合は、もう一度電源／終了ボタンを押してください。それでも画面が表示されない場合は、ACアダプタを接続してから電源／終了ボタンを押してください。

<Point>

- スクリーンロック画面が表示された場合は、(🔒)を指で右方向にスライドして、スクリーンロックを解除します。
- ACアダプタを接続して電源／終了ボタンを押しても画面が表示されない場合は、バッテリ残量が0%になっています。5分以上充電してから、電源／終了ボタンを押してください。

電源を切る

1 電源／終了ボタンを、1～4秒押し続ける

2 「シャットダウンしますか？」と表示されたら、［OK］をタップ

電源が切れます。

画面を消す／つける

1 電源／終了ボタンを、短く押す

画面が消えます。
もう一度電源／終了ボタンを短く押すと、画面がつきます。

強制的に電源を切る

1 電源／終了ボタンを、5秒以上押し続ける

強制的に電源が切れます。

<Point>

- 電源／終了ボタンを5秒以上押し続けても切れないときは、クリップの先などでリセットボタンを6秒以上押してください。ボタンを離すと本製品が再起動しますので、その後、電源／終了ボタンを1～4秒押して電源を切ります。

ご購入時の状態に戻す

<重要>

- ご購入時の状態に戻すと、本製品の内部ストレージのデータがすべて消去されます。この作業を行う前に、大切なデータはバックアップをとることをお勧めします。
- ACアダプタを接続して操作してください。

1 **ホーム画面で ⁝⁝⁝ →［設定］→［バックアップとリセット］→［データの初期化］**

2 **確認画面で［タブレットをリセット］**

3 **確認画面で［すべて消去］**

いったん電源が切れます。
その後、再び電源が入り初期化が行われるので、しばらく待ちます。
「ようこそ」画面が表示されたら初期化終了です。

この後は、「初期設定を行う」（→P.19）の手順２以降の操作を行ってください。

お問い合わせ先

お問い合わせの前に、本体のラベルまたは保証書に記載されている、型名（MODEL）、製造番号（SERIAL）の確認をお願いします。

技術的なご質問・ご相談

富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口	
通話料無料	0120-950-222
受付時間	9:00 ～ 17:00（土曜、日曜、祝日およびシステムメンテナンス日を除く）

受付後に、専門技術員からのコールバックとなります。

ハードウェアの故障・修理

富士通ハードウェア修理相談センター	
通話料無料	0120-422-297
受付時間	9:00 ～ 17:00（土曜、日曜、祝日および年末年始を除く）

Memo

STYLISTIC　M532/EA4

取扱説明書

B6FJ-9491-01-01

発行日　2012 年 8 月

発行責任 富士通株式会社

〒105-7123　東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター

●このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
●このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
●無断転載を禁じます。
●落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。

このマニュアルはリサイクルに配慮して印刷されています。
不要になった際は、回収・リサイクルにお出しください。